

—1980年代の国際管理をめぐる日米の努力とその教訓—

武田 悠

広島市立大学国際学部 講師



1982年生まれ。筑波大学大学院人文社会科学研
究科国際政治経済学専攻博士課程了、博士(国
際政治経済学)。専門は日米関係史、原子力の国
際政治。日本原子力研究開発機構、外務省外交
史料館などを経て現職。著書に『日本の原子力外
交—資源小国70』(中央公論新社 2018
年)、『「経済大国」日本の対米協調:安保・経済・原
子力をめぐる試行錯誤, 1975~1981年』(ミネル
ヴァ書房、2015年)など。

2021年8月11日(木)

15:00~16:30

【オンライン会議システム「Zoom」を利用して開催いたします】

使用言語:日本語

モデレーター:友次晋介(広島大学平和センター准教授)

参加方法:以下の申し込みフォームからお申し込みください。

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=3VQExGOyJkmGjY4SZAG3UEPazVvV0ZuNjEzZkE0YyNUMlBERlYzTlMQUjRlITJlNTZBZSs1ZVEpENS4u>

研究会前日までに、参加方法等をお知らせいたします。



広島大学平和センター

TEL 082-542-6975 FAX 082-245-0585

E-mail: heiwa@hiroshima-u.ac.jp